発行元　遊佐町共同開発米部会広報部　2009 年 8 月 10 日　発行

遊 you 米 ニュース ３０号

2009年度　草取り、ホタルツアー in 遊佐

６月下旬に埼玉から３３名、７月上旬に神奈川から２５名、生活クラブの組合員を遊佐町に迎えました。　遊佐の自然を体験し、無農薬田での草取り作業を行いました。　子供達の参加も多く、食の後継者が育っているなぁと感じられました。夜は杉沢地区「語り部の館」でバーベキューを行い、生産者と組合員で仲良くホタル観賞を行いました。又、部会員が米作りについて話始めるとうなずきながら真剣に聞き入る生活クラブ組合員の姿がとても印象的でした。食への不安が感じられる現在の社会情勢において、生活クラブ組合員の安心安全・安定供給など、「食」への関心が強まっている事は間違いないようです。

７月 4～5 日に、杉沢・褄坂地区の班員の方々から準備・交流会にご協力頂き、ありがとうございました。

共同開発米部会のみなさんへ

農作業のお忙しい中組合員の為に時間を割いて、もてなしてくださった事に心から感謝しております。「顔の見える関係は、交流を重ねる事で信頼関係が深まる事なんだ、絆なんだ」と、連日の様に全国の生活クラブの交流会に参加したり産地を訪問する組合員を迎えたりと、本当にお忙しい会長のその言葉に改めて感動しました。遊 you 米は私たちの食卓になくてはならない大事なものです。そしてみなさんと私たちを繋ぐ意味でもとても大切なもの。秋の豊かな実りを心から祈っております。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

生活クラブ神奈川
副理事長　一政　伸子

2009 夏 庄内交流会

７月２２～24 日に遊佐町内の農業施設や女性部の石けんプラント、無農薬圃場・飼料用米圃場・杉勇酒米圃場、胴腹の瀧を見学しました。食品の偽装表示などがテレビ等で頻繁に情報が伝わってくるためか、消費者のまなざしが真剣です。　特に遊佐の水の状況・女性部のせっけん運動に興味津々でした。

２２日の夕方から「ゆらり」にて遊 you 米生産者、女性部等と生活クラブ組合員の交流会を行いました。お米についての質疑応答など、意見交換を行いました。　生活クラブ組合員の中には理事・消費委員等、交流を兼ねながらしっかりとお米の産地を勉強し、帰ってからの登録活動に活かしたいとやる気満々の方々が大勢いました。そんな組合員に遊佐町の農業は支えられているんだなぁと感じました。

消費地交流会　'09 年度８月現在 開催会場**約 50 会場** 埼玉、東京、群馬、神奈川、大阪、奈良、静岡、京都　の　1 都 2 府 5 県で開催されました。
　参加組合員　**約1,700人**　　お忙しい中、部会員のご協力ありがとうございました。

職員やリーダー達との交流会（左）。お米を登録してもらうために進んで参加して下さいました。夜分の交流会でしたが、メモを取りながら真剣に話を聞き、質問も飛び交いました。　組合員との交流会（右）では子供達を連れて若いお母さんの姿も多く見られ、食の後継者も育っているなぁと感じました。

新役員紹介

遊佐町共同開発米部会　会　長
川　俣　　義　昭
遊佐町共同開発米部会　副会長
尾　形　　長　輝
菅　原　　英　児

経営部

部　長	菅原　三勝
副部長	伊藤　幸治
部　員	三浦　悦浩
	高橋　正人

企画部

部　長	阿部　浩
副部長	伊藤　敏哉
部　員	土門　健太郎
	堀　　秀徳

組織部

部　長	菅原　寛志
副部長	今野　広昭
部　員	伊藤　弘一
	池田　知司
	土田　巌

広報部

部　長	今野　修
副部長	池田　正和
部　員	三浦　広和
	阿部　健吾
	高橋　洸太

総務部

部　長	伊藤　俊徳
副部長	小野寺　一博
部　員	佐藤　勇人

地区代表

三浦	繁雄	今野	一巳
池田	昭	川俣	幸喜
石垣	政幸	斉藤	利勝

監　事
高橋　正樹
庄司　徹

お願い 毎年参加人数や消費地交流会の会場増加により、委員の人数では対応しきれない状態になってきています。今後、各班の協力無しでは活動に限界が生じます。生活クラブ約 30 万人の組合員に対して共同開発米部会員全員で対応し、遊 you 米の登録活動に協力できる組織にしていく必要があると強く感じられました。毎年６月から始まる消費地交流会に、班長班員の参加を割り振りし参加要請いたします。産地である遊佐に生活クラブを迎える際も、各班へ協力要請を行っていきますので、ご協力よろしくお願いいたします。

開発米部会に関するご意見・ご質問は…JA庄内みどり遊佐支店　営農センターまでご連絡ください。
Tel:72-3234　E-mail:yuyou@midorinet.or.jp　URL:http://www.midorinet.or.jp/yuyou/